

申請日： 20XX年X月XX日

国際会議誘致に係る招請状作成依頼

以下の要領で、国際会議を開催したく、広島大学として誘致のための招請状を发出していただけますようお願いいたします。

1. 招請状利用用途：

国際本部に提出する立候補表明書に添付

2. 招請状発出期日：

〇〇年〇〇月〇〇日（曜日）までに（PDF・**原本**）が必要

3. レター本文の宛名（英語）：

Dr. AAA AAA, President of AAA Congress

4. レターに記載する日付（任意、指定なしの場合、作成日の日付が入ります）：

〇〇年〇〇月〇〇日

5. レター文に入れてほしい文章（英文60単語）

（※任意、学会開催の意義・広島で開催することのメリット等を60単語程度（5~6行）の文章で挿入することが可能です。原文は研究企画室で英文チェック後を行い、確認後发出いたします。）

【会議情報】

1. 会議概要

（1）会議名称（英）：**International Network of Research Management Societies2020**

（あれば（日）：**研究運営・管理に関する職能団体の国際ネットワーク世界大会2020**）

（2）予定参加者数：**約450名（海外300名・国内150名）**

- (3) 予定参加国数：約40カ国（日本を含む）
- (4) 予定開催年月：2020年5月（4日間）
- (5) 予定開催場所：広島市
- (6) 会議の概要：本会議は世界各国・地域における学術・研究活動の活性化や国際共同研究の促進を目的とした、大学等研究機関で研究支援に携わる専門職員による世界会議である。本会議では、研究支援人材の能力向上、課題の共有・解決のための検討について情報・アイデア交換を行い、各大学等研究機関のさらなる研究力強化や国際的共同研究促進や、将来的な連携のための国際的なネットワーク構築・拡充を図る機会にしたい。

2. 国際本部

- (1) 名称: **International Network of Research Management Societies (INORMS) 2020**
- (2) 代表者名：Ms. Janice Besch
- (3) 所在地：Western Sydney University, Campbelltown, NSW, Australia
- (4) 概要・主な活動：INORMS was formed in 2001 to bring together research management societies and associations from across the globe. Its purpose is to enable interactions, sharing of good practice, and joint activities between the member societies, to the benefit of their individual memberships.
- (5) ウェブサイトURL：<http://www.inorms.net/index.html>

3. 日本側主催団体

- (1) 名称
 - 和文：リサーチ・アドミニストレーター協議会
 - 英文：**Research Manager and Administrator Network Japan**
- (2) 所在地：〒920-1192石川県金沢市角間町金沢大学先端科学・イノベーション推進機構内
- (3) 代表者名：山崎光悦
- (4) 発足および会員数：2015年3月組織会員23機関、個人会員は約400名
- (5) ウェブサイトURL：<http://www.rman.jp/>
- (6) 概要・主な活動：公式ホームページから抜粋「RA協議会は、大学、高等専門学校、大学共同利用機関、独立行政法人、地方独立行政法人、特殊法人その他公的な研究機関（以下「大学等」という。）が取り組んでいるリサーチアドミニストレーションの組織等の定着・展開に向けて、リサーチアドミニストレーション人材の育成・能力向上、課題の共有・解決のための検討等について情報交換を行うことを通じ、我が国の大学等の研究力強化に貢献し、学術及び科学技術の振興並びにイノ

バージョンに寄与することを目的としています。」「具体的な事業内容は次の通り]1. 本会会員間の業務連携に資する活動、全国的な体制の構築及び運営、2. 人材育成等を目的とした研究会、講習会の開催等、及び能力の認定、3. 大学等のリサーチアドミニストレーション業務に関する情報交換等の促進、情報発信、4. 国内外の諸団体等との連絡、交流、対話及び協力並びに提携、5. 大学等のリサーチアドミニストレーション業務の啓発及び普及活動、6. その他本会の目的を達成するために必要な事業」

4. 競合国：

ケープタウンあるいはヨハネスブルグ(南アフリカ)ほか

5. 開催履歴：

(記載例)	開催国	開催都市
開催年		
2006年	オーストラリア	ブリスベン
2008年	英国	リバプール
2010年	南アフリカ	ケープタウン
2012年	デンマーク	コペンハーゲン
2014年	米国	ワシントンDC
2016年	オーストラリア	メルボルン
2018年	英国	エジンバラ

6. 開催地決定までのスケジュール、決定方法：

2016年11月29日 立候補表明

2017年02月24日 Bid Paper提出

2017年03月-05月 理事会委員の間でメールによる付議し決定

7. 他招聘状発出機関（予定）

- ・立候補都市・広島市長より招聘状発出予定
- ・JNTO（日本政府観光局）・JNTO理事長名による招聘状発出

8. 広島で会議を開催することの意義、広島で開催することで学術分野や社会にどのように貢献できるか（文字サイズ12pt、10行程度）：

この分野(研究運営・管理の専門職)のネットワーク形成が発展途上にあるアジア地

域に位置する日本で開催することにより、特に東アジア、東南アジアからの参加者増加が期待できる。地理的な利便性だけでなく、日本が東アジアや東南アジアの研究大学や研究機関と育んできた交流やコネクションを生かして、アジア地域も巻き込んだ世界的なネットワーク形成に貢献できる。また、多様性の推進をテーマとして今回立候補している主催団体としては、原爆投下という悲劇的な歴史を乗り越えて、平和を希求し、ボーダーレスな相互理解と連携を目指している広島は、INORMS2020の開催地として理想的である。また、広島は多数の国際会議開催の実績があり、その上、MICE推進のための広島市・広島観光コンベンションビューロー・広島大学の三者協定に基づき、強力な連携と支援が期待できる。

9. 申請者連絡先

所属：学術室研究企画室

担当者名：〇〇〇〇

連絡先（内線可）：082-424-〇〇〇〇

メールアドレス：Example@hiroshima-u.ac.jp

以上